



## 双鳩祭を終えて 「みんなの青春 STORY～7色の闘志を燃やせ～」

今年もまた3年生が、半田中学校に新たな歴史を刻んでくれました。進化を続ける半中にふさわしい企画、発信力、そして一体感。感動の波が、次から次へ押し寄せてきました。

### 10月28日（木）は、全校リモートでの文化祭。

生徒会を中心に、謎解きなど新しい企画で全校を盛り上げ、リモートで発表を参観するだけでなく、「参加型文化祭」となりました。有志の発表、文化部の発表、そして応援旗の発表は、作品のクオリティの高さはもちろん、発信力がすばらしかったです。学年のLT発表は、学習の積み重ねを感じました。改めて、見て、聞いて、触れて、感じた体験的な学習は、生涯忘れない学びとなるでしょう。

### そして、10月29日（金）は、はじめて全校そろっての体育祭。

開会式での選手宣誓は、まさにこの一瞬にかける思いがあふれていて、強い決意が伝わってきました。縦割り種目は、仲間の声援を力に、最後まで力を出し切りました。勝ち負けにとらわれず、がんばった姿に自然と拍手が起こることがすばらしかったです。学級対抗大リレーは、クラスでバトンをつなぎ、クラスの絆が深まったように感じました。

そして、応援合戦。どの団もすごい気迫を感じました。特に、団長や幹部の皆さんは、限られた練習時間の中で、よく団をまとめ、見応えのある演舞をつくり上げました。時には、団がまとまらず苦労した時期も経験したと思いますが、決してあきらめず最後までやり遂げてくれました。

私は、「この応援はだれのための応援だったのだろう」とふと思いました。自分を変えるための応援、自分が成長するための応援、お世話になった人に感謝を伝えるための応援、半田中を元気づけるための応援、みんなを勇気づけるための応援。皆さんの演舞からいろいろな気持ちが伝わってきました。



そして、忘れてはならない存在は、双鳩祭を盛り上げてくれた生徒会、競技の準備、片付けのために動いてくれた担当の委員会の人たちです。まさに、縁の下の力持ち。この人たちの存在がなければ、皆さんは双鳩祭で力を出し切ることはできませんでした。それぞれの持ち場、役割を理解し、真剣に取り組んだからこそ、思い出に残る双鳩祭になったと思います。

みんなの青春 STORY に、今年の大嶋祭は大切に刻まれましたか。私は、大嶋祭を終えて、皆さんに「やった、よかった、しんどかったけど感動した」、そんな気持ちを味わってほしいと思いました。

3年生のある生徒が、こんな思いを抱いていました。

**私は、今日の日を一生の思い出にしたいという強い思いをもって取り組んできました。みんなの思いを一つにすることは難しかったけれど、思いが通じ合ったときはうれしかったです。今日は共に練習に励んだ仲間と笑顔で終わりたいと思います。**



この思いから、努力すること、協力することの大切さを貫いてきたことがうかがえます。

「努力」と「協力」は、当たり前に使っている言葉ではありますが、改めてその意味を調べてみると、努力とは「力を尽くして励むこと」、協力とは「力を合わせて事にあたること」とあります。

力を尽くすには、成し遂げたいと思える「目標」が必要です。力を合わせるには、共通の目標をもつ「仲間」が必要です。大嶋祭では、みんなでどんな目標を達成しましたか。

「努力は足し算、協力はかけ算」という合言葉がありますが、その心意気を発揮するにも「目標」が大切です。目標がないところには、努力も協力も生まれません。3年生のある生徒の「今日の日を一生の思い出にしたい」という目標のもと、「努力」と「協力」があったからこそ、「やった、よかった、しんどかったけど感動した」という気持ちが味わえるのだと思います。

閉会式では、団長のたすきを返還する場面がありました。たすきの結び目を緩め、ほどける瞬間に、涙する人、ほっと肩の力が抜けた人、丁寧にたすきを折りたたんで感謝の言葉を述べた人の姿がありました。全力を出し切ったからこそ、この一瞬に思いがあふれたことと思います。本当によくがんばりました。

次は、2年生が半田中学校の伝統を引き継ぎます。たすきに込められた半中魂をしっかりと受け継いで、来年は半中に新たな歴史を刻んでほしいです。

皆さんの、コロナ禍でも「みんなで行事を楽しもう」とする姿、メリハリのあるきびきびとした姿、勝っても負けても最後まで全力でがんばる姿、仲間のがんばりに惜しみない拍手で称える姿に何度も胸が熱くなりました。やっぱり一生懸命はかっこいい！！

**大嶋祭が終わり、半田中学校は、また普段の穏やかな学校生活に戻りましたが、ふと運動場を見ると、体育祭の感動の余韻が蘇ってきます。みんなで声を出し、汗を出し、力を出した経験は、きっと皆さんの未来を明るく照らす光となるはずです。**

